

2021年「成人を祝うつどい」開催報告 ～無観客映像配信で実施～



2020年度は「新型コロナウイルス」という、かつてない災禍に見舞われた年でした。私たちの生活を一変させてしまったそれは、「成人を祝うつどい」をも変えてしまったのです。緊急事態宣言が発出される中で、急速映像配信にて開催いたしました。また、実行委員会の一員として企画・運営した新成人実行委員の声を少しだけご紹介いたします。

来場型2部制(入替制)から 無観客映像配信への変更

1月7日に出された
緊急事態宣言で...

【実行委員会での協議】

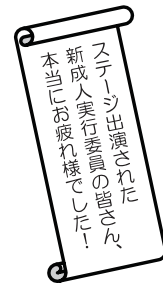
「成人を祝うつどい」は実行委員会(青少年委員13人・新成人実行委員9人)を組織として、企画・運営を行っています。6月に開催する第1回を皮切りに、月1回の頻度で会議を行います。12月の会議で内容が最終決定します。最終会議で2部制(入替制)での実施の決定、全2つのプログラムと役割が確定され、各新成人のスピーチや司会などのリハーサルも行われ、後は式典前日のリハーサルと式典当日を迎えるのみでした。



半年以上をかけて準備してきましたが、新成人実行委員は気持ちの切り替え、新たな内容や役割分担での式典本番の配信に向けて再調整を行いました。

【迎えた式典当日】

12時配信開始の2、3分前まで直前リハーサルを重ね、そして「成人を祝うつどい」が配信型として開催されました。



新成人実行委員の声

異例づくしの式典
終えた新成人の声とは

【最初は緊張するも...
とても楽しかった】

コロナ禍での開催ということもあり、会議も少しヒリヒリしていた感じもして、話し合いに参加するのも緊張していました。でも委員会を重ねる毎に少しずつ話し合いをする機会が出てきて、徐々に同じ委員の子たちとも打ち解けていきました！式典直前に緊急事態宣言が出たのが本当に最後までどうなるのかわからなかったのですが、終わって振り返ってみたらとても楽しかったなと思います！

【学生のうちにできた 貴重な経験と達成感】

多くの人と関わり、自分の意見を言えるという、貴重な機会を学生のうちに経験できて、本当に有難いことだったなと思います。色々あったけど楽しかったし、達成感も感じました。友だちもできたし、心の底からやって良かったと思っています。

【はじめは戸惑い...
やりがいのある時間に】

とても静かな会議室で、大人たちはとても深そうで...はじめは戸惑いました。しかし大人の方と一緒に考え、議論し、物事を一つずつ決めていくことは、楽しくてやりがいのある時間となり、大人の仲間入りをしたように思えたのです。今年度の成人式は、3日前にオンラインでの配信に変更となりました。悩み、話し合い、最後までやり遂げたことは大切な思い出になりました。大人の方々も新成人のみならず、暖かくこのドタバタを一緒に走り抜けた仲間たちにも感謝しています。

- 令和3年度編集委員
徳永 弘子 (羽衣町地区)
浅見 勲 (若葉町地区)
原澤 泉 (曙町地区)
鈴木 美佐恵 (砂川地区)

- 退任委員
小川 由佳 (錦町地区)
上野 佳子 (幸町地区)



式典配信動画
QRコード

ひきこもりってなに？

～地域の皆さんに伝えたいこと～

6月5日(土)に行われる予定だった「青少年健全育成市民運動推進大会」は、コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。推進大会で講演される予定だった生きづらさコンサルジュの大橋史信氏に、内容の一部を寄稿いただきましたので、この場でご紹介いたします。



第167号
2021.7.1

立川の青少年

編集・発行 立川市青少年健全育成地区委員連絡会
編集長 矢島 重治
事務局 立川市子ども家庭部 子ども育成課
042152814367

01

ひきこもりの現状

全国ひきこもり人は115万人にも上るといわれています。社会現象のひとつになってきています。教育・就労等の若者問題だけでなく社会的孤立による高齢化、福祉生活課題に移行しているのどの世代でも、どの年代からでも、誰もがひきこもる状態になる可能性がある社会情勢になっています。

02

ひきこもりのきっかけと課題 何に困っているか？着目することが重要

「ひきこもり」になるきっかけは、主に三つの要因の軸。

- 生物学的要因
- 心理的要因
- 社会的要因

が、複合かつ多面的に背景にあり、ひとつに特定できない場合が多いです。よって、きっかけ・要因探しを必要以上に行うよりも、対象者自身、困りごとに着目して欲しいと思います。ひきこもり状態になる

03

地域の皆さんへお願い

大切なのは、同じ地域の住民として、ひきこもり等の「生きづらさ」を抱えたご本人や家族を監視(否定・批判)の目ではなく、関心(寄り添い・安心・安全)の目で見守り、彼らの出番があり、誰ひとり取り残されない地域をどう作るかを地域全体で考え、創っていく姿勢を持ち続けていただくことです。

- 「ひきこもり等を
「よ・悪い」で捉えない
- 「受容・安心・安全を
感じさせる対応を

●本人とその家族に、何かどう何に困っているのかを時間をかけじっくり聞いて、静かに「どうなんだ」と聞き役に徹すること、少しずつ関係性を構築していきます。

●「ひきこもり」等は、「悪い問題」という価値観が

- 「ひきこもり」とは「生き方」そのものを応援する姿勢が大切です。
- 「私たち抜きに私たちのことを決めないで」の精神で。生きづらさの専門家は本人とその家族です。「ひきこもり」かどうかどうかに着目するのはなく、本人の気持ちや意思を尊重しながら、生じる困りごとの解決をどうしていくのか、寄り添いとともに考えて行く対応をお願いします。
- 「支援者自身の「限界」を知る」こと
 - 支援者自身も抱え込まないで、家族会や支援機関等と連携し、支援に関わる制度等の情報収集



一般社団法人
生きづらさインクルーシブデザイン工房
代表理事 大橋 史信氏

Profile
あなたらしい生き方の航海図を描くお手伝いをします
携帯電話: 080-6539-1304
E-mail: jamboohashi0507@yahoo.co.jp
6月30日(水)に、(株)日本法令 から
ひきこもり等支援に関する書籍を出版しました!

自身のケアも大事にして
ください。

◆退任地区委員長ご挨拶◆

羽衣町地区 須崎 信行 前委員長



平成 21 年に羽衣町地区委員長の任を受け、以来 11 年間その責を務めさせていただきました。誠にありがとうございました。

地区委員の情報、意見交換の場である定例会議に参加した方

「学校、地域の様々な情報を知ることができて本当に良かった」との声を聞くたびにいつも襟を正す思いでした。地区委員の皆さんが気持ちよく地域活動に力を発揮できるように、その背中を支えることに全力で取り組んでまいりました。

地域活動や行事に参加する大人と子どもたちの交流が素敵な町づくりへと繋がっていきます。その交流活動の中心、要として、各地区の青少健地区委員長の皆様がますます活躍されますことを心よりお祈りしております。

お疲れさまでした



委員長として就任した平成 31 年度、青少年健全育成市民運動推進大会に出席させて頂く中に印象に残っている事があります。車いすバスケットボール元日本代表の方が講師としてこられ、スポーツ用車いすに乗る体験をさせていただいた事です。いざ乗ってみようと思うように動かす事が出来ず、これでバスケをするのかと思うとともにすごく努力をされていると感じました。



◆新任地区委員長ご紹介◆ よろしくお祈りします

羽衣町地区 平澤 節子 新委員長



Q1: どんな大人になりたかったですか？

⇒子どもの頃は体が弱くてドクターが神様に見え、医療関係の仕事に夢を抱いていました。いつもなぜ？どうして？というような子で、研究者や学校の先生にも憧れました。ささやかでも人の役に立てればと思っていました。

Q2: 今の青少年に一言

⇒今は価値観も働き方も多様化し選択肢は多岐にわたりますが、それ故に悩むことも・・・でも頑張った経験は絶対無駄にならないので、大いに失敗し挑戦してください。そしてサポートできる大人が側にいることを忘れないでほしい。

Q3: 地域自慢と抱負

⇒町の子どもたちは温かい地域に守られのびのびしています。多くのジュニア・リーダーと青年リーダーが育ち育成者や諸団体と活躍し、元気がない子にはおせっかいを発動し皆で心配します。この伝統を守り各世代が繋がっていくことに力を尽くしたいと思います。

柴崎町地区 森園 高博 新委員長



Q1: どんな大人になりたかったですか？

⇒子どもの頃、人を笑わせる、人を笑顔にできる人間でありたいと思っていました。また尊敬される人にと。現実はずれていません。

Q2: 今の青少年に一言

⇒周りの人や、目上の人に挨拶が自然にできるようになってほしい。また、自分さえ良ければいいではなく、周りに心はこべる人に。

Q3: 地域自慢と抱負

⇒伝統ある柴崎町。青少健のスタートも柴崎町が最初だった。どこもそうでしょうが近隣のつながりが希薄な昨今。柴崎町の潤滑剤になれたらと思います。

柴崎町地区 井口 あつ子 前委員長



いつも柴崎町地区の青少健活動にご理解とご協力を頂き誠に有り難うございます。

新型コロナウイルス感染拡大により、総会や地区委員会、各活動等が出来なくなり、また関係諸団体との連携がとりにくい事態となっています。さて、この度の青少健柴崎町地区委員会総会を持ちまして、新たな委員長と交代させて頂くこととなりました。2年間の活動でお役に立てない事が多く心苦しく思いますが引き続き相談役として協力をして参りたいと思います。今まで沢山の方々にお支え頂き、青少健委員長を務めてくることが出来ました事に心から感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。本当に有り難うございました。

◆◆◆新会長ご挨拶◆◆◆

曙町地区 矢島 重治 委員長



この度、青少健地区委員長連絡会の会長になりました青少健曙町地区委員長の矢島重治です。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大で多くの事業、行事が中止になりました。現在も、緊急事態宣言が出されており、今年も、多くの事業、行事を中止や延期せざるを得ない状況です。コロナ禍における青少健活動について改めて検討せざるを得ません。地域の青少健活動の大きな柱に

地域における情報の共有が重要です。学校や地域の諸団体との間で地域の情報、子どもたちの状況、情報を共有することで、青少年健全育成の活動を進めるために家庭、学校、地域の連携が重要だといわれていますが、そのためには情報の共有が必ずです。

富士見町地区 佐藤 米子 委員長



「あたたかい町 富士見町 この状況 力を合わせて乗り切ろう！」

錦町地区 市川 敏夫 委員長



コロナに負けずに感染防止対策を行なって、ポジティブに活動を行ないます。

高松町地区 関口 順孝 委員長



子どもたちの心に、「良き想い出」として残る地域活動をして行きたいと思っています。

栄町地区 高田 淳 委員長



歴史を噛みしめ、先人に敬意を表し、各種事業に取り組みます。

柏町地区 坂下 香澄 委員長



東京都子ども基本条例ができました。立川市にもあったらいいな。

幸町地区 斉藤 儀織 委員長



ボーダーコリィー8歳(レオ)を飼っています。コロナ禍でステイホームですが、レオに癒されています。今年もよろしくお祈りいたします。

若葉町地区 須崎 健 委員長



今年度の事業は状況を見ながら役員及び地域の方々の力をかりて実施していきたいと思えます。

砂川地区 小松 剛 委員長



昨年は殆どの活動及び地域事業が中止になりましたが、本年度は新たな活動の形を模索し、運営して参ります。

西砂川地区 石井 直行 委員長



本年度は、コロナの影響もありますが、ふれあい松明祭り開催ができる事を願っています。